

「2006年度の日本の原子力発電所の被ばく状況」

JNES 林田 芳久 氏

日本の原子力発電所の2006年度における職業被ばくに関する概要報告。BWRの平均集団線量/基は直近3年間減少してきており、2006年度は1.33人-Svと過去最小を記録した。PWRの平均集団線量/基は1人-Svで安定に推移している。

日本は他国と比較して定期検査の期間が長い傾向にあり、今後の検査制度の見直し、効率化により被ばく線量の低減が期待される。

